



好きやねん湖東

第128号

祝 成人式

集合写真提供：クワハラフォトスタジオ



1月10日、湖東コミュニティセンターにて「二十歳の集い」が開催され、新しく大人の仲間入りした新成人70名が集まりました(〇)

☆上記の集合写真をご希望の方は、「クワハラフォト スタジオ」までご連絡下さい。

～あした 明日に向かって ①～ 看護師になって感じること

湖東地区出身で看護師1年目の 谷川 佳澄 さんと 松野 円香 さんに現在の心境を語ってもらいました。

★お二人の看護師になったきっかけを教えてください。

谷川さん：母が看護師で、その姿をずっと見てきて看護師に私もなりたかったです。

松野さん：幼い頃はケーキ屋さんで看護師に憧れていて、具体的なきっかけは覚えていませんが、看護師の仕事の良さを母から聞き、素敵な仕事だと思って看護師を選びました。

★看護師1年目のお二人ですが、この1年で大変だったと感じたことはありますか？

谷川さん：看護師になって、学生の頃より責任感が大きくなったことです。

松野さん：患者さん、家族さんの心のケアです。どこまで関わってよいのか分からず十分に寄り添えない悔しい1年でした。

★では、嬉しかったことは？

谷川さん：患者さんの笑顔が見られた時が一番嬉しいです。

松野さん：患者さんに感謝された時です。「あなたで良かった」そう言ってくれたときです。

★今後、どのような看護師になっていきたいとありますか？

谷川さん：これからも患者さんに寄り添って安心できる看護師を目指したいです。

松野さん：看護師になりたてですが、人の気持ちに寄り添える看護師になりたいと思います。第三者の立場で物事を考え、行動できるように日々努力したいです。

彼女たちの話を聞いていると、高齢化社会では、今まで以上に医療・介護分野は大変だと思います。お二人の笑顔が患者さんの心の支えになると思います。頑張ってください。(H. M)



谷川 佳澄 さん



松野 円香 さん

～あした 明日に向かって ②～ 青西 海成 (中一色町) 彼を変えた赤レンジャイのマスク

青西さんは、高校を卒業した後、大工になるために5年間の修行をし、現在は家業の工務店で働いています。「母は私に相談もしないで、東近江市商工会青年部湖東支部に加入の手続きをしてくれました。普通、親が勝手に申し込むのはジャニーズでしょう(〜;)と、赤レンジャイへの第一歩のきっかけを話されます。

「青年部の活動を全く知らなかったし、人混みが苦手なのでコトナリエも行ったことがありませんでした。しかし、家族経営の仕事の中だけでは世間が見えにくくなっていたので、今は母に感謝しています m()m」そんな彼が、昨年の夏のコトナリエで赤レンジャイ デビュー！！



「小学校の朝の見守りでは挨拶運動をしていますが、大きな声での返事が少ないので、子どもたちには、もっと元気(やんちゃ)でもいいのではと最近を感じているところです。土日はイベントで引っ張りだこで大変忙しい赤レンジャイですが、出演させてもらえることで世界観が広がり、今は、自分の存在感を出して、名前を覚えてもらえることを目標に頑張っています。」と、彼の瞳には大きな輝きが見られました。

「赤レンジャイの目標は“紅白歌合戦”の紅組の応援に出ること。」だそうです。その時には、一番、目立つ存在になっていることと思います。(福田)



青西 海成 さん

～まち協だより～

東近江市内まちづくり協議会交流会の開催



1月17日、湖東コミュニティセンターにおいて「東近江市内まちづくり協議会交流会」が開催されました。

今回は、『自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために』と題して、“人と組織と地球のための国際研究所”代表者の川北 秀人 先生のお話を聞かせていただきました。

以下、川北先生のお話です。

これからの「まちづくり」は、地域ごとの人口構成によって取り組むべきであり、5年後、10年後を見据えた取り組みを考えることである。

元気な地域とは、自分が住み続ける地域の未来のために、本当に大切なことを実現できるように、全力を尽くすことである。個々が、力を出し惜しみしないこと、できないフリをしないこと、あきらめないこと、「誰かがどうにかしてくれる」なんて甘えないことである。

また、自治会・町内会は、行事を半減して、福祉と経済に重きを置いた事業を実施していくように考えてほしい。

今後は、必要性が高まる安全・安心の確保のための「適地適作(策)」型の地域づくりに取り組んでいただきたい。



講演を熱心に聴講する参加者

～こちら防災コミュニティ部～

食いしん防災隊が行く！(第3回)

《前回までのあらすじ》災害時の備えとしておススメする「炊飯袋」は、とても便利なすぐれモノなのであった！

天災と同じく忘れかけた頃にやってくるこのコーナー。もっと定期的に掲載させてほしいもんです。おっと、愚痴をこぼして紙面を無駄使いしている場合じゃない。気を取り直して本題に入りましょう。

「炊飯袋」の使い方はカンタン。たとえばご飯を炊く場合、袋に書かれた線まで米と水を入れ、口を縛って湯の中で30分ゆでるだけ。半時間ほど蒸(む)らせれば、冬でもホカホカご飯がいただける。保存食より安上がりで、公平な分配ができ、食器がなかったり手が汚れたりしていてもOK！

しかし、どれほど簡単でも、ぶっつけ本番では不安がいっぱい。ということで、「食いしん防災隊」では体験教室を実施中。出前もするですよ！

お問い合わせはまち協事務局まで。



袋でご飯ができるんや！

～ ただ今商い中 ～ **整体院 サルビア** ～池庄町～

昨年の3月に池庄町のマスタ園芸の横に「整体院 サルビア」を開業したのは、マスタ園芸の二男の 増田 学 (まなぶ) さんです。

中学の頃から、骨・筋肉にはどのような役割があるのか、なぜ手は動くのか、なぜ筋肉痛になるのかなどと体の不思議に興味を持っていた学さんは、医療系の大学で医療知識と技術を身に付け、国家資格の「柔道整復師」と「ドイツマニュアルセラピー」の資格を取得しました。学さんに整体院「サルビア」の開業のいきさつと、治療についての想いを語っていただきました。

生まれ育ったふるさと湖東で地域の皆さんの役に立ちたい、スポーツ選手のトレーナーになりたいという想いと、東近江市には痛みを取り除く「治療専門の整体院」が少ないということから、**整体院「サルビア」**を開業しました。

昔は畳に座ることが多く、膝を痛める人が多くいましたが、今はパソコン作業が多くなり肩こりや頸部の痛み、腰痛を訴える人が多くいます。来院されるのは30代～50代の方が多く、7割が女性です。往診にも応じています。当院は仕事や育児、家事などを一生懸命に頑張っておられる方のお役に立ちたいと思っています。体の痛みでお困りの方は一人で悩まずお電話ください。



整体院『サルビア』の全景



増田 学 さん

◎料金 多部位・・・9,000円/1回
一部位・・・6,000円/1回 } 60～90分の手技治療
その他、**オーダー**として、**Healthコース**、**Beautyコース**、**Medicalコース**があります。詳しくは、「東近江市 整体院 サルビア」で検索してください。



完全予約制ですので、10時～21時の間に電話連絡をお願いします。
住所：東近江市池庄町2125-3 TEL：080-3841-9185

～湖東のここが好き～

“創意と工夫の郷づくりの今” 編【長町】

「鑄物のふる里 - 森と緑に囲まれて -」

「長町」には、町の中央に500m以上の敷地を持つ空き屋がありました。かつては「長村」の産業であった「鑄物業」（鍋釜と梵鐘【ぼんしょう】の製造と鍛冶【かじ】職）に携わっていたとされる旧家が、旧町内に誘致された企業の寮となったり、個人への貸家となったりしながら、最終的には空き屋となっていたものです。

湖東町から東近江市への変化の例に倣え（ならえ）ば、中心を失った町民は心の空虚感を抱えていたと言えます。

そして平成9年に、『創意と工夫の郷づくり』事業の計画にのっとり、この不在家屋を「公民館」にリフォームしました。横浜在住の所有者との話し合いの結果、この土地と物件を譲り受け、住民の出資で完成させ、『長久館』と名付けました。（公募によるネーミングで、長(おさが)久しく続くという意味と、提供者の「久一郎」がかけてある。）このように名付けたことで、さらに町民の愛着も増しました。

平成5年前後に分譲された新興住宅地16戸の新たな住民も、その後、行事や祭りの担い手になっています。そして最近では、さらに新たに住宅が旧の住宅近くに数軒建ち並びました。病院と小学校に近いという地の利を活かして、新たな長町へと「いのち」をつないでいます。

古来、田地面積が少なく農業と鍛冶・鑄物業で生活を営んできたこの地の人は、「因襲と伝統を鋭く見分け、変化を恐れず世代交代していく潔さ」が匠（たくみ）としての技だったのかも知れません。

(黄地 伸)



『長久館』の全景

～我が家の笑顔～



福井 さんちは 笑顔がいっぱい - 横溝町 -

<お母さんからのメッセージ>

昨年9月、我が家に待望の二人目が来ました。正確には、二卵性の双子でした！

双子の育児は、大変で、一人では手が足りません。ミルクをあげる時は、哺乳瓶を両手で持って飲ませ、“げっぷ”させる時は、一人は自分で飲んでいてもらい、その間にもう一人に“げっぷ”をさせます。オムツ替えも、一人が“うんち”をすると、もう一人もしたりして大変ですが、二人とも同じ格好をして寝ていたりするので、とってもかわいいです(^)!

8年ぶりの育児なので、無理をせず、楽しく育てていますが、どうしても無理！！と思った時は、まわりの人に助けを求めるようにしています。



お父さん 弘幸 (ひろゆき) さん
お母さん 景子 (けいこ) さん
長男 幸輝 (こうき) くん (8歳)
二男 優正 (ゆうせい) ちゃん (5ヶ月)
長女 美優 (みゆう) ちゃん (5ヶ月)

～ 診療所からのお知らせ ～

『健康は口の中から ～医科歯科連携～』 湖東診療所 所長 杉山祐介

みなさんご存知の通り、一部の限られた大学を除いて医師と歯科医師の養成はまったく別物です。これまで両者が連携することはほとんどなく、私の臨床経験をふり返っても同様であると言わざるを得ません。

しかし、高齢社会を迎えている現在、口腔ケアが医療者の関心を集めています。口腔内は外界からのさまざまな物質の侵入門戸であり、さまざまな細菌が常在菌叢を形成しています。細菌には善玉菌・悪玉菌・そして日和見菌があり、不衛生などによりこれらの均衡が崩れると虫歯・歯周病を発症します。

近年、歯周病は口腔内だけの問題にとどまらず糖尿病・動脈硬化性疾患にも密接な関連があることが注目されるようになってきました。はっきりした原因は解明されていませんが、糖尿病・動脈硬化性疾患の患者さんが歯周病を有する率が高いことが統計学的に証明されています。これらの疾患の予防・治療においてはこれまでの食事・運動・薬物療法に加えて、今後は歯科診療がもう一本の柱になっていくことが確実です。健康体である時期から、口腔を清潔に保っておくことが大切です。さまざまな分野で注目を集めている歯科の重要性を念頭に置きつつ日々の診療にあたっていきます。



お知らせ掲示板

～資源回収の実施～

3月5日(土) 午前8時30分～10時
湖東コミュニティセンター前 駐車場にて



回収物は、新聞(広告を含む)、雑誌・雑がみ(菓子箱やラップの芯、紙袋、包装紙など)、ダンボール、古着、廃食油(植物性天ぷら油)、ペットボトルのキャップ、特定家電(ごみカレンダー参照)です。

- ・新聞紙等はビニール袋に入れなくて、ひも等でくくってください。
- ・特定家電はリサイクル料とは別に1台あたり運搬料2,500円を受付で徴収します。

～まちカフェ通信～

毎月2回、湖東コミュニティセンター別館で「まちカフェ」を開催しています。

毎回多くの方々に参加していただき4月で1年を迎え、集いの場として少しずつ定着してきたように感じています。

これからも皆さんが興味あること、挑戦したいことなどを取り入れて、おしゃべりしながら一緒に楽しい時間を過ごしたいと考えています。

次回3月のまちカフェは、【羊毛フェルト】と【防災カルタ】です。皆さんのお越しをお待ちしています。



★1回目・・・3月7日(月) 10時～13時

★参加費・・・200円(ドリンク&材料費)

★内 容・・・羊毛フェルトで小物作りをします。かわいいマスコットやお子さん、お孫さんのヘアゴム作りをします。

★2回目・・・3月28日(月) 10時～13時

★参加費・・・無料(ドリンクを100円で提供)

★内 容・・・防災カルタ大会をします。

抽選で10名様に粗品をプレゼント



3月 さざんか学習講座

- 1日 (火) 10:00～ フラダンス教室
- 7日 (月) 19:30～ 三味線に挑戦
- 8日 (火) 13:30～ パティエに学ぶ本格スイーツ教室
- 8・22日 (火) 19:30～ コーラスに挑戦
- 12日 (土) 11:30～ ミラクルレディー教室
- 14日 (月) 13:30～ 押し花アート教室

昨年度の「さざんか学習講座」には、多数の方々に受講いただきありがとうございました。

平成28年度も子どもから高齢者まで、気軽に参加できるような講座内容を検討中です。

皆さんからのご意見をお待ちしています。



春を呼ぶ! 湖東コミュニティセンター・ライフロング文化講演会

田中 優(ゆう)さんに聞く 『日本の今と未来!』

日時:平成28年3月6日(日) 13:30～15:30

場所:湖東コミュニティセンター

≪主催≫

- ・湖東地区自治会連合会・湖東地区まちづくり協議会
- ・(公財) 東近江市地域振興事業団